

様式第2号(第7条関係)

会議の開催結果

1 会議の名称	令和5年度第1回 さいたま市大宮盆栽美術館運営委員会
2 会議の開催日時	令和5年8月2日(水曜日) 午後3時00分～午後5時00分
3 会議の開催場所	さいたま市大宮盆栽美術館 講座室
4 出席者名	小島委員長、池田委員、砂生委員、杉山委員、高嶋委員、谷中委員、松澤委員、三輪委員、森委員
5 欠席者名	大和田副委員長
6 議題及び公開又は非公開の別	報告 令和5年度大宮盆栽美術館展覧会事業等について 議事 令和6年度大宮盆栽美術館展覧会事業等について (公開又は非公開の別) 公開
7 非公開の理由	—
8 傍聴者の数	0名
9 審議した内容	令和6年度大宮盆栽美術館展覧会事業等について
10 問合せ先	スポーツ文化局 文化部 大宮盆栽美術館 電話番号 048-780-2091
11 その他	

令和5年度 大宮盆栽美術館展覧会事業等について

1 展覧会事業

(1) 通常展 2回

- ・ 季節感を重視し、収蔵品の盆栽、盆器、水石を主に紹介する展示
季節の展示「盆栽展〈四季〉」
- ・ 盆栽及び大宮盆栽村の歴史と文化を紹介するパネル展示及び収蔵資料展示
歴史と文化「盆栽クロニクルー年代記ー」

(2) 企画展 6回

- ・ 季節感を念頭に、当館所蔵品には少ない樹種等の特集展示
「さつき盆栽展」
- ・ 盆栽と関連する水石、盆石等の縮景表現に関する特集展示
「山水涼景～水石の世界」、「白砂と石の風景ー「盆石」の旅」
- ・ 盆栽関連団体との共催展
「第32回作家展（日本盆栽作家協会）」
- ・ 子ども向け展示（夏季、冬季）
「夏休み子どもぼんさい美術館」、「子どもたちに伝えたい さいたまの盆栽」

(3) 特別展 1回

盆栽文化に関するテーマを設け、主に外部団体等からの借用による大規模な展覧会
「煎茶と盆栽～「盆栽」の夜明け」（仮称）

江戸時代中期以降、上方を中心に、中国の文人文化に範をとった日本の文人たちの間で煎茶趣味が流行した。江戸時代後期に至り、文人によって営まれた煎茶会の場に盆栽は取り入れられ、それまで「鉢植え」と称された盆栽文化は、新たに「盆栽」としての夜明けを迎える。

ここでは、①雅称「盆栽」の使用、②現在の盆器の典型となる「泥物」鉢の使用、③文人画の樹木を模した「文人木」樹形の考案、④座敷における盆栽飾りが見られ、現在の盆栽文化に直結する要素が煎茶趣味・文人文化の中で形成された。

本展では、江戸時代後期から明治時代に流行する煎茶会に関連する図録や文人画家の絵画、関連資料を通して、文人文化の洗礼を受けて夜明けを迎える盆栽の画期を概観する。

通常展、企画展、特別展一覧

展覧会名	期間	G	企
(1) 通常展			
季節の展示「盆栽展〈四季〉」	38週	○	
歴史と文化「盆栽クロニクルー年代記ー」 会期①：所蔵品展 会期②：所蔵品展	①4月22日（土） ～7月5日（水） ②9月16日（土） ～11月26日（日）		○
(2) 企画展			
「さつき盆栽展」	5月26日（金） ～6月4日（日）	○	
「山水涼景～水石の世界」	7月21日（金） ～8月30日（水）	○	
「夏休み子どもぼんさい美術館」	7月22日（土） ～8月30日（水）		○
「白砂と石の風景～「盆石」の旅」	9月8日（金） ～9月20日（水）	○	
「第32回 作家展（日本盆栽作家協会）」（共催）	10月27日（金） ～11月15日（水）	○	
「子どもたちに伝えたい さいたまの盆栽」	12月9日（土） ～1月24日（水）		○
(3) 特別展			
「煎茶と盆栽～「盆栽」の夜明け」（仮称）	2月10日（土） ～3月20日（水祝）	一部	○

※G：コレクションギャラリー／企：企画展示室

2 普及事業

(1) 定例講座

- ・盆栽ワークショップ 第3日曜・1回（定員8人）
- ・子どもワークショップ 第3日曜・1回（定員8組）
- ・盆栽実技 第4土曜・1回（定員30人）
- ・ギャラリートーク 第1日曜、第3土曜・各1回

(2) 特別講座等

- ・夏休みワークショップ 7月～8月、全10回（定員各10人）
- ・盆栽植え替えデー 10月、3月、全8回（定員各8人）
- ・出張講座、講演 随時
- ・国際盆栽ギャラリーガイド（新） 金曜・各1回、CIR担当

(3) 学校連携

- ・校外学習の受け入れ（市立小学校 17 校、35 クラス）※バス借上げ事業
- ・校外学習の受け入れ（市立小学校 5 校、20 クラス）※徒歩及び学校バス手配
- ・市立小学校への出張盆栽授業（10 月～11 月募集予定）
- ・未来くるワーク（5 校）、教員研修（4 名）、博物館見学実習の受け入れ（2 校）

(4) ミュージアム・サポーターの育成、運営

- ・登録者
38 人
- ・活動内容（サポーター各自が任意に各事業グループに登録して活動）
 - ①ガイド事業（GW 庭園ガイド、ウェルカムマンデー、団体ガイド）
 - ②学校見学事業
 - ③ワークショップ事業
 - ④資料整理事業
 - ⑤アカデミー事業
- ・ボランティア研修（定例研修（月 1 回、グループごと）、自主研修随時）

3 その他

(1) イベント事業

- ・「ゆかた de 盆美」

期間 7 月 15 日（土）～8 月 30 日（水）

内容 ゆかた、甚平、和服着用で来館すると観覧料無料

ゆかた着付け体験（貸し出しあり）、4 回

打ち水イベント、1 回

Instagram への投稿により、ポストカードをプレゼント

- ・「さいたま国際芸術祭 2023」市民プロジェクト

期間 10 月 6 日（金）～10 月 25 日（水）

内容 市民プロジェクトの会場として、以下 2 件の企画を実施。

①「CART-SAITAMA」、**「ART-Chari」**の周遊会場

- ・芸術祭の宣伝カーとして、アートカーによるキャラバン走行の会場。
- ・自転車アートのツアー会場

②「さいたま市文化施設 味変企画」の展示

- ・岩槻人形博物館、漫画会館、鉄道博物館との同時開催で、各館の展示を現代アートにより一変する“味変”企画として、当館では造形作家・

角文平氏（鉄塔盆栽ほか）及び照明作家・市川平氏（バオブブプランテーション）によるアート作品を屋内外に展示。

- ・「SAITAMA Wheel2023」（観光再始動事業）

期間 10月～11月の期間に20日間程度

内容 ツール・ド・フランスさいたまクリテリウムのプレミアム観戦ツアーの海外向けの販売と、大宮盆栽美術館のライトアップ（夜間での特別公開）

- (2) キャンベラ樹木園との姉妹館提携

実施日 11月1日（水）

内 容 キャンベラ樹木園との姉妹館提携調印式を盆栽美術館で実施

- (3) 館外イベント出展事業（アウトリーチ活動）

- ・「春風盆栽展」国営昭和記念公園、5月19日（金）～5月22日（月）

- ・「中央区役所盆栽写真展」中央区役所食堂棟区民ギャラリー、6月1日（木）～6月30日（金）

4 調査研究活動

- (1) 大宮盆栽村の開村100周年記念事業（R7年度）に向けた調査研究

- ・村の歴史と文化に関する資料調査（九霞園資料、各種地図等）、関係者ヒアリング調査、8mmフィルムのデジタル化
- ・展示計画、図録作成、普及プログラム計画の検討

- (2) 令和5年度特別展の開催に向けた調査研究

- ・関係資料の調査研究
- ・普及プログラムの検討・計画

5 さいたま国際盆栽アカデミー

- (1) 日本人向け初級コース

講座数	全7回 内訳：講義3回、実技4回
開催時期	6月～令和6年3月
クラス数	2クラス
定員	12名（1クラス6名）

(2) 日本人向け中級コース

講座数	全 8 回 内訳：講義 3 回、実技 5 回
開催時期	9 月～令和 6 年 3 月
クラス数	2 クラス
定員	12 名（1 クラス 6 名）

(3) 日本人向け上級コース

講座数	全 10 回 内訳：講義 3 回、実技 7 回
開催時期	6 月～令和 6 年 3 月
クラス数	1 クラス
定員	6 名

(4) 外国人向け中級コース

内容	大宮盆栽村盆栽園主による講義・実技
講座数	全 1 回 ※1 回 2 時間程度
開催時期	9 月～令和 6 年 3 月 ※事前予約制
開催数	2 回（1 回 1 組）
定員	2 組（1 組 30 名未満）

(5) 外国人向け上級コース

内容	大宮盆栽美術館における培養管理の現地研修
開催時期	相談に応じる
期間	相談に応じる
対象	姉妹館提携先職員
定員	1～2 名

令和 6 年度 大宮盆栽美術館展覧会事業等について

1 展覧会事業

(1) 通常展 2回

- ・ 季節感を重視し、収蔵品の盆栽、盆器、水石を主に紹介する展示
季節の展示「盆栽展〈四季〉」
- ・ 盆栽及び大宮盆栽村の歴史と文化を紹介するパネル展示及び収蔵資料展示
歴史と文化「盆栽クロニクル—年代記—」

(2) 企画展 6回

- ・ 季節感を念頭に、当館所蔵品には少ない樹種等の特集展示
「さつき盆栽展」
- ・ 盆栽と関連する水石、盆石等の縮景表現に関する特集展示
「水石展」、「盆石展」(仮称)
- ・ 盆栽関連団体との共催展
「第 33 回作家展 (日本盆栽作家協会)」
- ・ 子ども向け展示 (夏季、冬季)
「夏休み子どもぼんさい美術館」、「子どもたちに伝えたい さいたまの盆栽」

(3) 特別展 1回

盆栽文化に関するテーマを設け、主に外部団体等からの借用による大規模な展覧会
「見る、知る、楽しむ～おもちゃ絵“盆栽づくし”」(仮称) ※借用交渉中

浮世絵版画の分類の一つである「おもちゃ絵」に、「ものづくし絵」がある。一つの題材を多数集めて標本図鑑のように一覧とした図で、子ども向けの玩具として、また、明治期には図鑑的性質を生かした学校教材としても使用された。

ものづくし絵の多様な題材の一つとして、江戸の園芸文化を背景とした「はちうえづくし」、明治期には「盆栽づくし」と称した多くの図が版行されている。碁盤目状に配置された盆栽の図は、いずれもよく見られた植物がほとんどで、その特徴をよく捉え、図の傍らには植物名が記載されている図も多い。植物の特徴や名称を「知る」楽しみ、そして、その多彩な姿を個別的に、また総覧として一見する「見る」楽しみは、もの尽くし絵ならではの醍醐味と言える。

本展では、個人収集家の所蔵品を中心に、特に盆栽を取り上げたものづくし絵を通して、今も昔も変わることのない、絵を見る・学ぶ楽しみを来館者に伝えることを目的とする。

通常展、企画展、特別展一覧

展覧会名	期間	G	企
(1) 通常展			
季節の展示「盆栽展〈四季〉」	20週程度	○	
歴史と文化「盆栽クロニクルー年代記ー」 ※所蔵品展を含む	4月中旬～7月初旬		○
(2) 企画展			
「さつき盆栽展」	5月下旬～6月初旬	○	
「夏休み子どもぼんさい美術館」	7月中旬～8月下旬		○
「水石展」(仮称)	7月下旬～8月中旬	○	
「盆石展」(仮称)	9月中旬	○	
「第33回 作家展(日本盆栽作家協会)」(共催)	11月	○	
「子どもたちに伝えたい さいたまの盆栽」	12月中旬～1月下旬		○
(3) 特別展			
「見る、知る、楽しむ～おもちゃ絵“盆栽尽くし”」(仮称)	10月～11月		○

※G：コレクションギャラリー／企：企画展示室

2 普及事業

(1) 定例講座

- ・盆栽ワークショップ 第3日曜・1回(定員8人)
- ・子どもワークショップ 第3日曜・1回(定員8組)
- ・盆栽実技 第4土曜・1回(定員30人)
- ・ギャラリートーク 第1日曜、第3土曜・各1回

(2) 特別講座等

- ・夏休みワークショップ 7月～8月、全10回(定員各10人)
- ・盆栽植え替えデー 10月、3月、全4回(定員各8人)
- ・出張講座、講演 随時
- ・国際ナショナルギャラリーガイド 毎週金曜・各1回、CIR担当

(3) 学校連携

- ・校外学習の受け入れ（令和6年2月頃募集開始）※バス借上げ事業
- ・市立小学校への出張授業（同上）
- ・未来くるワーク、教員研修、博物館見学実習の受け入れ

(4) ミュージアム・サポーターの育成、運営

- ・登録者
38人（令和5年度）※令和6年3月に継続意向調査及び若干名を募集。
- ・活動内容（サポーター各自が任意に各事業グループに登録して活動）
 - ①ガイド事業（GW庭園ガイド、ウェルカムマンデー、団体ガイド）
 - ②学校見学事業
 - ③ワークショップ事業
 - ④資料整理事業
 - ⑤アカデミー事業
- ・ボランティア研修（定例研修（月1回、グループごと）、自主研修随時）

3 その他

(1) イベント事業

- ・「ゆかた de 盆美」
期間 7月中旬～8月下旬
内容 ゆかた、甚平、和服着用で来館すると観覧料無料とするイベント。

(2) 館外イベント出展事業（アウトリーチ活動）

4 調査研究活動

(1) 大宮盆栽村の開村100周年記念事業（R7年度）に向けた調査研究

- ・村の歴史と文化に関する資料調査（九霞園資料、新聞記事、各種地図、市博所蔵資料等）、関係者ヒアリング調査
- ・展示及び普及プログラム計画の作成
- ・図録計画の作成及び解説文等原稿執筆
- ・各種資料の目録作成

(2) 令和6年度特別展の開催に向けた調査研究

- ・関係資料の調査研究、解説文等原稿執筆
- ・普及プログラムの検討・計画

5 さいたま国際盆栽アカデミー

(1) 日本人向け初級コース

講座数	全7回 内訳：講義3回、実技4回
開催時期	6月～令和7年3月
クラス数	2クラス
定員	16名（1クラス8名）

(2) 日本人向け中級コース

講座数	全8回 内訳：講義3回、実技5回
開催時期	9月～令和7年3月
クラス数	2クラス
定員	12名（1クラス6名）

(3) 日本人向け上級コース

講座数	全10回 内訳：講義3回、実技7回
開催時期	6月～令和7年3月
クラス数	1クラス
定員	6名

(4) 外国人向け中級コース

内容	大宮盆栽村盆栽園主による講義・実技
講座数	全1回 ※1回2時間程度
開催時期	9月～令和7年3月 ※事前予約制
開催数	2回（1回1組）
定員	2組（1組30名未満）

(5) 外国人向け上級コース

内容	大宮盆栽美術館における培養管理の現地研修
開催時期	相談に応じる
期間	相談に応じる
対象	姉妹館提携先職員
定員	1～2名